

2018 年度事業計画

2017 年度において富山労福協は、勤労者の相互扶助の精神を基本に、地域社会との連帯活動に取り組みました。また、勤労者の福祉向上をめざし、講演会・スポーツ大会などに積極的に取り組んできました。

2018 年度は、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を基本に、社会的連帯を深める運動と政策の実現と暮らしの総合支援の推進に向け、県下勤労者の労働福祉事業推進に取り組むとともに、協同事業、労働者福祉運動の基盤強化に取り組んでいきます。

しかしながら、近年においては労働福祉事業についての認知度が希薄になっていると言わざるを得ません。したがって、労働福祉運動の「これまで」と「これから」の冊子の有効活用や、各事業団体と地方連合会と三位一体の連携を図りながら、次世代に向けた労働福祉運動をつなげていくための「理念・歴史」について理解を深め、各事業団体の活性化に取り組んでいきます。

一方、2015 年度から取り組んできました「奨学金問題」については、ようやく本年度から給付型奨学金制度がスタートしました。これまで地道な取り組みを継続した成果ではありますが、給付対象者や金額ともに十分とは言えません。更なる世論喚起と併せて自治体要請に取り組みながら、制度拡充と改善をめざしていきます。

収益事業では、各事業部（会館事業部、宴会事業部、駐車場事業部）と連携を図り、売り上げの拡大と徹底した経費の削減を基本に着実な経営改善を進め、更なる安定経営を目指します。しかしながら、ボルファート会館設立から今年で 34 年を迎え、老朽化による不具合が相次いで発生しています。前年度は会館の剥落危機のある外壁修繕や消費電力節減と将来的な消耗品対策として、全館の電球・蛍光灯を LED に交換しました。

2018 年度は、初期投資を極力抑えることとし空調ボイラーを電化更新することで重油高騰とメンテナンスリスクを回避しながら安定経営を図ります。

ボルファート会館のみならず、富山北モータープール駐車場においては借入金の繰り上げ返済も視野に置きながら、計画的に順次修繕を進めることとします。

今年度も、労福協運動の基盤を更に固める年と位置付け、県下に働く勤労者の福祉向上に取り組むとともに、収益事業において安定した収益体制の構築を前面に打ち出し、労働福祉事業団体や労働組合、協力企業のより一層の協力のもと、経営基盤強化に取り組めます。

2018 年度重点実施項目

労福協の基本姿勢である「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を目指すと共に、労福協の安定経営に取り組めます。

- (1) 勤労者福祉活動の推進
- (2) 経営基盤強化による安定経営
- (3) 各事業部との収益力強化に向けた連携強化
- (4) 福祉事業団体との連携強化
- (5) 各種委員会機能の強化

I 労働福祉事業

勤労者の社会福祉の充実にに向けて取り組むとともに、各種事業の効果的な運営に取り組みます。

1. 社会的な連帯を深める運動と政策の実現課題

- (1) 貧困・多重債務の解消と生活支援
 - ・消費者行政・相談機能の強化
- (2) 消費者運動との連携
 - ・消団連の活動への積極的参加
- (3) 地球環境保全と食の安全
 - ・食の安全・安心の確保
- (4) 政策制度要求の実現
 - ・中小企業勤労者福祉の向上
 - ・中小企業勤労者福祉サービスセンターの拡充（県内広域化）
 - ・個別事業団体の重点要求の実現
- (5) 防災・減災への取り組み
- (6) フードバンク活動のフォローアップ

2. 勤労者の総合生活支援（ライフサポート）

- (1) 勤労者の福祉推進事業
 - ① 勤労者福祉向上事業
 - ・ライフプランセミナー（2月開催）
 - ・全国労働者福祉強化月間行事
 - ② 文化振興事業
 - ・ゆとり支援事業（4回）
 - ・美の祭典への賛助（11月）
 - ③ 子育て支援事業
 - ・スキー・スノーボードの集い（1、2月開催）
 - ④ 消費者支援事業
 - ・衛生管理講習会（1回）

- ・税制学習会
- ⑤ 勤労者生活応援事業
 - ・生活見直し相談会 (年2回)
- ⑥ 講演会の実施
 - ・労働者福祉・消費者支援等の講演
- (2) 勤労者の健康増進事業
 - ① ビーチボール大会 (6月開催)
 - ② ボウリング大会 (地域LSCにて)
 - ③ パークゴルフ大会 (5、6月開催)
 - ④ 健康づくり講座 (1月開催)
 - ⑤ 救命に関する講習会 (地域LSCにて)
- (3) 勤労者交流事業
 - ① 労働者の祭典支援事業 (4月)
 - ② 福祉事業団体新年祝賀会 (1月)
 - ③ 国際交流事業 (3月)
- (4) 退職者・高齢者の支援事業
 - ① 県退職者連合との連携強化
 - ② 労働者福祉事業団体OBとの連携
- (5) 地域ライフサポートセンターの活動推進事業
- (6) 福祉事業宣伝活動事業
 - ① 機関誌の発刊
 - ② ホームページの充実
- (7) 労働者福祉運動・事業の基盤強化
 - ① 福祉事業団体との連携強化
 - ② 労働者福祉運動を担う人材の育成・教育

II 収益事業（会館事業・宴会事業・駐車場事業）

2018年度も、収益事業の安定した事業継続に向けて、各事業の売り上げ拡大と収益の確保に努め、全員一丸となり安定経営に臨みます。

新幹線の開通以降、富山ライトレールの一部複線化や今後の富山駅南北接続により、ますます富山駅北地域の活性化が期待されます。各事業にあつてはこの変化を見逃さず、迅速な対応にてこの好機を活かした利用拡大を図り、また更なる経費の削減により、一層の財務体質の強化に努めます。また、収益事業の一体化による更なる運営の効率化についても検討を進めます。

各事業は引き続き自立の追及を図りながら、連携を強化し収益事業全体の経営基盤の安

定を目指します。

1. 会館事業（労福協センター）

ボルファートとやま会館と他の事業の双方の価値観を高め、将来も継続して勤労者等からご利用していただけるよう計画的な取り組みを行います。

(1) 経営基盤の強化

- ① テナントの入居促進、未収金の回収
- ② 安定した経営計画に向けた計画的施設改修と経費の削減
- ③ 環境整備・各種法令遵守基本の会館運営

2. 宴会事業（ボルファートとやま）

「安心・快適・おいしい・楽しい」をお客様にお届けすることで顧客満足度向上をめざし、効率的な事業運営と収支計画の必達による、自立運営の基盤をつくります。また、地域環境に十分対応できるよう取り組みます。

(1) 安全衛生の徹底

- ① 環境衛生と食品安全の徹底
 - ・手洗いの徹底等健康維持並びに衛生管理の意識向上
- ② 教育訓練による意識啓発
 - ・安全衛生委員会の設置（年4回の開催）

(2) 売上拡大

- ① 新規顧客獲得拡大
 - ・富山市中心部への営業展開の強化
 - ・新規エージェントとの連携に伴う県外顧客の誘致
- ② 営業企画力の充実・強化
 - ・お客様ニーズを把握した商品開発
 - ・商品知識の向上による提案営業の実施に伴う単価向上
 - ・個人顧客獲得へ向けた販売ツールの強化
- ③ 営業推進力の充実・強化
 - ・早期リピーター営業による確実な顧客確保
 - ・記念事業等大型案件獲得に向けた情報収集力並びに営業力強化
 - ・営業効率による訪問件数の増加

(3) サービス意識の徹底と向上

- ① 顧客満足度の向上
 - ・お客様との価値の共有
 - ・お客様のニーズ、ウォンツを常に考えたサービス
- ② 苦情ゼロの確立

- ・お客様との綿密な打ち合わせ
 - ・コミュニケーションの密接化でミスゼロの徹底
- (4) コスト意識の確立
- ① 無理・無駄の排除
 - ・プライオリティによる作業遂行
 - ② 一件毎の収益の確保
 - ・無駄な値引きの削減
 - ③ 労務管理の徹底
 - ・作業の効率化による時間外の低減
 - ④ 備品管理の徹底
 - ・備品管理表の作成と時節毎の徹底チェック

3. 駐車場事業部（富山北モータープール）

富山駅周辺のまちづくりは、富山市の玄関口にふさわしい賑わいの創出とまちなみの形成の整備が進んでいます。環境変化に対応し、利用者に使いやすく、安心な駐車場であるために、必要に応じて改善を行います。

- (1) 宴会事業部との連携及び事業企画の検討
- (2) 周辺施設との連携強化
- (3) 貸倉庫の利用推進
- (4) 老朽化対策の対応（腐食による柱補強工事・防犯カメラ・雨漏り等）
- (5) 利用者への親切な対応とサービスの向上

4. 各種委員会の充実

- (1) 事業運営委員会
- (2) 宴会事業推進委員会